

プログラム再開に関する新型コロナウイルス感染予防対策

サッカープログラム

【プログラム前の対策】

毎回プログラムの前日までに以下の点について参加者（アスリート・ファミリー、ボランティア）に通知し、返信をもらう。返信がない場合は感染予防上の安全が確認できない為、当日会場に来ては参加させない。

毎回返信が必要な項目

① プログラムに出席か欠席か

《出席する場合は以下の点にも回答すること》

② 発熱、倦怠感、咳、のどの痛み、味覚臭覚異変などの症状が14日以内にあるかないか

③ 同居家族や介助者などの14日以内の発熱、倦怠感、咳、のどの痛み、味覚臭覚異変などの症状の有無や14日以内の入国制限や入国後の観察期間を必要とされている国及び地域への海外渡航歴があるかないか

毎回通知する項目

■ 上記②～③に該当する場合はプログラムを欠席しなければならないこと

■ プログラム当日の朝に自宅で検温し体温が37.5℃以上または平熱よりも1℃以上の熱がある場合はプログラムを欠席しなければならないこと

【プログラム受付時の対策】

- 手洗いまたはアルコール消毒（各自で準備）をすることを確認
- 当日の朝の体温を確認し記録する

【プログラム中の対策】

- プログラムの時間は60～90分程度とする
- 距離を保つようにするため、お互いに両手を伸ばした距離を常にとる
- アスリート同士だけでなく、アスリートとコーチの距離も両手を伸ばした距離をとる
- 熱中症予防のためアスリートやコーチはスポーツ中のマスクはしない
- アスリートに近距離で対応しなければならない可能性のある場合は、コーチがマスクを着用する
- アスリートに触れる場合は、可能な限り触れる前または触れた後にアルコール消毒をする
- アスリート10人程度を1グループとして練習内容、練習場所、待機場所を分ける
- 対面するような練習はなるべく避け、対面する場合は適度な距離を保つこととする
- 順番を待つなど並ぶ場合はなるべく横並びとし両手を広げた距離を空ける
- 試合形式の練習は行わない

【プログラム外での対策】

- 見学のファミリーもマスクを着用しお互いに適切な距離をとって見学する
- タオルやペットボトルなどの共有はしない